

めぐみイエス・キリスト教会

2019年7月28日(日) 第四主日礼拝
週報「通算第466号」



2019年標題聖句

第Ⅱ ペテロ1章10節

《ですから、兄弟たちよ。ますます熱心に、あなたがたの召されたことと選ばれたこととを確かなものとしなさい。これらのことを行なっていれば、つまりくことなど決してありません。》

第一礼拝	毎週日曜日	午前10時～11時
第二礼拝	毎週日曜日	午後6時～7時
聖書の学びと祈り会	毎週水曜日	午後6時15分～7時15分

牧師 鈴木 竜 実
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◇◆◇2019年7月28日 第四主日礼拝
第一礼拝 午前10時 第二礼拝 午後6時
司会 鈴木 竜実牧師 奏楽 佐野 みゆきさん
◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】

【賛美Ⅰ】 新聖歌444 「屈するなかれ」 p. 716

【交読文】 No.39 詩篇第122篇 p. 911

【賛美Ⅱ】 新聖歌21 「輝く日を仰ぐとき」 p. 28

【使徒信条】

【主の祈り】

【先週説教】

【賛美Ⅲ】 オリジナルNo.4 「天には救いの喜び」

【聖書朗読】 ヨハネの福音書18章28節～32節 (p. 200上段真中)

【祈 禱】

【説 教】 《異邦人に引き渡された主イエス》 鈴木竜実 牧師

【聖 餐 式】

【賛美Ⅳ】 新聖歌165 「栄光イエスにあれ」 p. 235

【平和祈り】

【頌 栄】 新聖歌63 「父・御子・御霊の」 p. 85

【祝祷後奏】

◎本日の聖書箇所【ヨハネの福音書18章28節～32節】(新約p.200)

18:28 さて、彼らはイエスを、カヤパのところから総督官邸に連れて行った。時は明け方であった。彼らは、過越の食事が食べられなくなることはないように、汚れを受けまいとして、官邸にはいらなかった。

18:29 そこで、ピラトは彼らのところに出て来て言った。「あなたがたは、この人に対して何を告発するのですか。」

18:30 彼らはピラトに答えた。「もしこの人が悪いことをしていなかったら、私たちはこの人をあなたに引き渡しはしなかったでしょう。」

18:31 そこでピラトは彼らに言った。「あなたがたがこの人を引き取り、自分たちの律法に従ってさばきなさい。」ユダヤ人たちは彼に言った。「私たちには、だれを死刑にすることも許されてはいません。」

18:32 これは、ご自分がどのような死に方をされるのかを示して話されたイエスの言葉が成就するためであった。

●ポイント1. 第三回宗教裁判とは？

※マタイの福音書27章1節～2節「ユダヤ最高議会の招集」(新約p.53下段)

27:1 さて、夜が明けると、祭司長、民の長老たち全員は、イエスを死刑にするために協議した。

27:2 それから、イエスを縛って連れ出し、総督ピラトに引き渡した。

※ルカの福音書22章67節～71節「ルカだけの議会の詳細」(新約p.151上段)

22:66 夜が明けると、民の長老会、それに祭司長、律法学者たちが、集まった。彼らはイエスを議会に連れ出し、

22:67 こう言った。「あなたがキリストなら、そうだと言いなさい。」しかしイエスは言われた。「私が言ってもあなたがたは決して信じないでしょうし、

22:68 私が尋ねても、あなたがたは決して答えないでしょう。

22:69 しかし今から後、人の子は、神の大能の右の座に着きます。」

22:70 彼らはみなで言った。「ではあなたは神の子ですか。」すると、イエスは彼らに「あなたがたの言うとおり、私はそれです。」と言われた。

22:71 すると彼らは「これでもまだ証人が必要でしょうか。私たち自身が彼の口から直接それを聞いたのだから。」と言った。

●ポイント2. 第三回宗教裁判直後の出来事とは？

※マタイの福音書27章3節～10節「イスカリオテのユダ」(新約p.53下段)

●ポイント3. 成就した主イエス様の預言とは？

※使徒の働き7章57節～58節前半「最初の殉教者ステパノ」(新約p.221下段)

7:57 人々は大声で叫びながら、耳をおおい、いっせいにステパノに殺到した。

7:58 そして彼を町の外に追い出して、石で打ち殺した。

※マタイの福音書20章17節～19節「主の3回目の受難予告」(新約p.36下段)

◎先週のメッセージの概要【第二回宗教裁判とペテロの否定】

《ヨハネは、カヤパにおける第二回宗教裁判のことを、たった一行で説明しています。それが24節で、『アンナスはイエスを、縛ったままで大祭司カヤパのところに送った。』とだけ書かれています。3つの共観福音書は、若干異なりを見せていますが、マタイとマルコは明らかにカヤパの尋問について書き記しています。この時、カヤパは、人類最大の質問を主イエス様にするのです。

また、大祭司アンナスとカヤパにおける宗教裁判と同時進行の形で、ペテロによる三度のイエス様の否定が行なわれます。3つの共観福音書では、カヤパの裁判の時に、三回続けて否定したことになっています。

ペテロが三回にわたって「そんな人は知らない」と答えた時、鶏が鳴きます。ルカによりますと、『主が振り向いてペテロを見つめられた。ペテロは、「今日、鶏が鳴くまでに、あなたは、三度私を知らないと言う。」と言われた主の言葉を思い出した。彼は、外に出て、激しく泣いた。』と書き加えています。この記事はルカの福音書にしかありません。この眼差しこそが、悔い改めに導く、愛と哀れみと慈しみに満ち溢れたものなのです。だから泣いたのです。

さて、カヤパがイエス様に、「あなたは、ほむべき方の子、キリストですか。」と聞いた時に、イエス様は、「私は、それです。」と答えられました。この言葉こそが「エゴ・エイミ」なのです。

イエス様は、かつてユダヤ人の指導者たちに、明確に宣言されたことがありました。「まことに、まことに、あなたがたに告げます。アブラハムが生まれる前から、私はいるのです。」と。最後の言葉は、「エゴ・エイミ」なのです。

この時、ご自身がヤーヴェであり、創造主なる神様であることを、明確に宣告された歴史的瞬間であったことを、多くの聖書学者は支持しています。イエス様は、「私はそれです。」と言う真実の答えで、十字架にかけられます。その罪状は冒瀆罪、すなわち自分を神とした、ということによってです。主を三度否んだ時のペテロには、まだ聖霊は、降ってはおられませんでした。》

◎お知らせ

※次回の礼拝は8月4日です。そして次回「聖書の学びと祈り会」は、7月31日(水)に行ないます。また8月11日の第二主日礼拝は、時間を変更して、午後2時から行ないます。午前10時及び午後6時の礼拝はありません。そして、8月14日(水)の祈り会もお休みとなります。日程に、十分ご注意ください。